

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切に、「チーム丸山台」として全職員で活気と魅力ある学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分からめあてをもち、自分らしさを発揮しながら夢中になって問題解決する授業づくりに取り組みます。 ・異学年、異校種交流や地域との連携を大切にしながら、自尊感情や自己有用感を育み、コミュニケーション能力を高め、誰もが安心して豊かに生活できるようにします。 ・まちや社会で働く人との出会いや学びを通して、自分の将来への夢や希望をもって生きようとする態度を育てます。 ・『食』の学びを中心に、健やかな体をと豊かな心を育むとともに、広く社会に目を向け、共に活動する姿勢を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①夢中になって問題解決に向かう子どもたちを育てるよう、重点研究を進めます。 ②社会や集団の中での役割を意識できるよう異学年交流を中心にした交流を行います。 ③思いやりや共生の心を育てる『食』の学びの指導を、系統的に行います。
担当 人権福祉・ 道徳	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

コミュニケーションや協同のよさに気づきにくい子どももいるので、人との関わりを重視する必要がある。礼儀やルールを守ることの大切さに気づく経験を通して、規範意識を高めていく必要がある。自分のよさに気づいて自己肯定感を高め、自他共に認め合う態度を育てていく必要がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】夢中になって問題解決に向かう子どもたちの育成をめざした道徳教育

- ・年間指導計画に沿った全学級の道徳授業公開を、年一回以上実施します。
- ・重点研究として取り組み、子どもたち同士が本音で語り、対話して問題解決に向かっていけるよう、必要感や切実感をもって、本音を伝え、認め合う子を育てる指導を目指します。
- ・問題を自分事としてとらえられるように道徳の授業の導入を工夫し、授業の充実を図ります。
- ・各学年の年間指導計画を活用し、学校行事や各教科等との関連を図りながら、夢中になって問題解決に向かえるような、道徳科の指導を行います。

【項目 自分づくり教育（キャリア教育）】異学年交流を中心に社会や集団の中での役割意識をはぐくむ自分づくり教育

- ・集団の中での役割意識がもてるよう、年間を通して、たてわり学年による異学年交流を行います。
- ・『食』の学びでは、地域の人々と連携した体験的な活動に取り組み、社会との関わりに気付くことができるよう指導を行います。
- ・出前授業では、様々な「本物」に触れる体験を含む豊かな体験活動を行います。

【項目 人権教育】『食』の学びを核に思いやりや共生の心を育てる人権教育

- ・『食』の学びでは、食文化への興味を広げ、自分たちの食を取り巻く環境に関心をもつとともに、様々な職業の人々に支えられていることに気付けるよう、系統的な指導に努めます。
- ・人権週間では、発達段階に応じた課題を設定し、道徳科の授業を全校で行います。
- ・Y-Pアセスメントを活用し、児童理解を深め、よりよい個別支援のあり方を研修します。また、学級の特徴を客観的に分析し、集団作りの方法を研修します。
- ・課題に合わせた子どもの社会的スキル横浜プログラムを実施します。